

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	3184
平成18年度部名	都市部	課名	都市交通計画課	課長名	石川敏美
平成19年度部名	まちづくり計画部	課名	都市交通計画課	課長名	石川敏美
事務事業名	生活交通確保対策補助金				
予算上の事務事業名	生活交通確保対策補助金(債務負担行為)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		33120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします				
基本施策名	第1節 利便性の高い公共交通網の確立				
施策名	第2施策 利便性の高い公共交通網の整備				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
規制緩和によるバス路線の廃止に伴い、県・隣接町と協調して補助金等の支払いにより、市民の生活交通であるバス路線の維持確保を図る。				市民全般	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
三ヶ木～東野・月夜野線	運行形態：市による損失補填(利用状況等によっては県も負担の可能性有り) 運行距離：東野線14.9km 月夜野線17.2km 運行回数：東野線...平日のみ4.5往復 月夜野線...平土休共通2往復				
三ヶ木～半原線	運行形態：県・市・町による協調補助 運行距離：8.4km 運行回数：平土休共通10往復				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
相模原市 市単独による運行委託・損失補填方式によるバス路線の維持確保を実施。 平塚市、秦野市及び、複数の町において公費負担によるバス路線の維持確保がおこなわれている。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	30,245	32,277	32,277
一般財源	0	0	30,245	32,277	32,277
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	4,000	4,000	4,000
事業コスト合計	0	0	34,245	36,277	36,277
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	三ヶ木～東野・月夜野線路線維持費補助			対象名称 と単位	運行回数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	13,221	13,221	13,261
対 象 数	0	0	3,638	3,638	3,651
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3,634	3,634	3,632
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	運行回数（三ヶ木～東野・月夜野）	指標式と指標の説明	東野線平日2178 + 月夜野線平日968土曜212休日280 = 3638便		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	3,638.0		
目標	0.0	0.0	3,638.0	3,638.0	3,651.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	平均乗車人数	指標式と指標の説明	輸送人員（年） / 運行回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	6.8		
目標	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	68.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		当該事業は、合併により町から引き継いだ事業であり、町の区域内を範囲として検討された結果、実施されたものであることから、新市におけるバス路線網の在り方を検討する中で、見直しを図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
現状においては、更なる利用促進に向けた市民意識の啓発が必要である。また、携帯電話等でバス運行情報が検索できるバスロケーションシステムの導入に対し、市で支援を行い、平成19年3月から運用が開始されたことから、利用の促進が図られるものと考えている。			合併協議により、5年間は現状を維持し、その後バス路線網の見直しを行うとしていることから、新市における利便性の高いバス路線網の構築に向けた取組みを進めて行く。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・合併協議により、5年間は現状維持とされていることから、その後におけるバス路線網の再編を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			